

情報ファイル

◆5月例会 各務原市の東濃信用金庫3支店(那加、蘇原、鵜沼)の取引先でつくる「とうしんものづくりの会」が同市那加前野町、那加支店で開いた。各務原商工会議所の所和彦経営支援員が「伴走型支援事例」と題して講演した。写真。

情報交換のため2012年から年5回開催している。今回は会員ら約85人が参加。所氏は中小企業などへの経営支援の例を紹介した。また自動車部品の製造販売を手掛け



る「run together」(岐阜市福富町)の山口純平代表が、同会議所の支援を受けて作成した経営計画などについて説明した。

◆「社会保障・税・財政」を考えるフォーラム 東海財務局は6月4日、名古屋市中区名城の愛知学院大名城キャンパスで「『社会保障・税・財政』を考えるフォーラム」を開く。定員250人で、参加無料。

財務省、厚生労働省の担当者が国財政と社会保障制度改革について基調講演。長谷川浩一局長らが加わる座談会では、事前に募った意見や質問について答える。申し込みの締め切りは今年27日。問い合わせ、申し込みは同財務局総務課、電話052(951)1772。